

# 地域社会学会会報

No.243 2025.1.25

地域社会学会事務局 Office of Japan Association of Regional and Community Studies  
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 横浜国立大学都市科学部  
齊藤麻人研究室内

TEL 045-339-3291(直) FAX 045-339-3291 郵便振替 地域社会学会 00150-2-790728  
E-mail [jarcs.office@gmail.com](mailto:jarcs.office@gmail.com) URL <http://jarcs.sakura.ne.jp/>

## ◆…………… 〈 会報 243 号のトピック 〉 ……………◆

- 1) 2024年度の会費納入をお願いします。2023年度よりSMOOSYによるクレジットカード決済を原則としています。振込用紙の送付は行っておりませんので、サイトよりご確認をお願いします。

## 目次

2月1日（土）開催の第4回研究例会ご参加のみなさまへのお知らせとお願い

1. 理事会からの報告
2. 研究委員会からの報告
3. 編集委員会からの報告
4. 社会学系コンソーシアム担当からの報告
5. 事務局からの報告
6. 会員異動
7. 会員の研究成果情報
8. 理事会のご案内

## 2024 年度 第 4 回研究例会のご案内

日時 2025年2月1日（土） 13:30～17:00  
会場 東京大学本郷キャンパス国際学術総合研究棟1階文学部3番大教室  
(対面と ZOOM によるハイフレックス形式)

※アクセス方法等は、開催2日前をめどに、会員メーリングリストで配信します。

### 【報告】

富田涼都（静岡大学）  
「無常の自然とどう折り合うか？」（仮）

### 【地域社会学会50周年記念事業「地域社会学を振り返る」（8）】

「地域社会学会と私——並走から往還へ」  
報告者 吉原直樹（東北大学名誉教授）  
有末賢（慶応義塾大学名誉教授）「コメント」

## 2月1日(土)開催の第4回研究例会ご参加のみなさまへのお知らせとお願い

### 1. 会場にご参加のみなさま

会場：東京大学本郷キャンパス国際学術総合研究棟1階文学部3番大教室  
(これまで使用してきた法文1号館とは場所が異なるのでご注意ください。また、現在、赤門は閉鎖中なので、「伊藤国際学術研究センター門」から入構してください)

アクセス：[https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/campus-guide/map01\\_02.html](https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/campus-guide/map01_02.html)

本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)より徒歩8分

本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)より徒歩6分

湯島駅又は根津駅(地下鉄千代田線)より徒歩8分

東大前駅(地下鉄南北線)より徒歩1分

春日駅(地下鉄三田線)より徒歩10分



## 2. オンラインでの参加のみなさま

### <事前の準備のお願い>

- ◆ 事前に Zoom のアプリをインストールしておいてください。インストール済みの方は、「アップデートを確認」で最新バージョンに更新しておいてください。
- ◆ Zoom のアクセス方法等は、開催 2 日程度前をめどに、会員メーリングリストで配信します。
- ◆ Zoom のリンクやミーティング ID、パスワードは、他人に教えないでください。

### <当日のお願い>

- ◆ 待機室を設定している場合、所定時刻の 5 分ほど前に設定を解除して入室できるようにします。
- ◆ ただし、直前の打ち合わせが長引くなどで、待機室の設定解除が遅れることもあります。その場合は待機室でお待ちください。
- ◆ ミーティングルームに入ったら、司会者と報告者以外は、マイクは「ミュート」にして、発言時のみ「ミュート解除」にしてください。ビデオはオンでもオフでも結構です。適切な操作がなされていない場合には、主催者がミュートにするなどの操作をすることがあります。
- ◆ 画面に表示する氏名は、「フルネーム (所属)」に変更しておいてください。
- ◆ 研究例会は、研究委員会が記録用にレコーディングします。接続・参加をもってレコーディングに承諾いただいたものとみなします。研究委員会以外の方（報告者も含めて）が Zoom の画面を撮影したり、録画・録音したりすることは禁じます。

### <配布資料について>

- ◆ 報告者から当日配布資料があるときは、Zoom のチャット機能を利用して配布します。
- ◆ 配布のタイミングは、各報告の開始時と開始 10 分後の 2 回です。

### <質問・発言について>

- ◆ 以下のいずれかの方法でお願いいたします。
  - ①Zoom の「リアクション」にある「手を挙げる」を表示させる。
  - ②Zoom のチャットに、質問内容を書き込む
  - ③Zoom のチャットに、質問がある旨を書き込む

### <Zoom 終了後の交流時間の取りやめについて>

- ◆ オンライン開催では、研究例会の終了後もしばらく Zoom を開放し、報告者・参加者の交流の時間としてきましたが、今回はハイフレックス開催のため片付け等の都合から、Zoom での交流時間は設けないこととさせていただきます。

### <当日の Zoom 操作に関する相談窓口>

- ◆ 当日、「接続できない」などの不測の事態に備えて、Zoom 操作に関する相談窓口としてサポートセンターを開設します。メールでご連絡ください。

### 当日サポートセンターの連絡先

- ◇ メールアドレス saito-asato-nb[アット] ynu.ac.jp [アット]を@にしてください。
- ◇ 当日配布資料の再配布はありません。

### <問い合わせ先>

- ◆ 当日の Zoom 操作に関すること以外は、研究委員長（室井研二、muroi.kenji.w9[アット]f.mail.nagoya-u.ac.jp）までメールでお問い合わせください。[アット]を@にしてください。

## 1. 理事会からの報告

2024年度地域社会学会第3回理事会は、2024年12月7日（土）の10時30分～12時15分まで龍谷大学大阪梅田キャンパス（+オンライン）で行われました。出席者は以下の通りです（敬称略）。

小山弘美、齊藤麻人、阪口毅、佐藤洋子、清水洋行、武田俊輔、辻岳史、二階堂裕子、野坂真、平井太郎、藤井和佐、町村敬志、前島訓子、松宮朝、三浦倫平、室井研二、矢部拓也、山口博史、渡邊隼

理事会では報告事項7件、審議事項4件が議論されました。

### (1) 第50回研究大会について

地域社会学会第50回大会は2025年5月17日（土）・18日（日）の両日、東京経済大学にて開催されます

（齊藤麻人）

## 2. 研究委員会からの報告

去る12月7日（土）、2024年度第3回研究例会が龍谷大学大阪梅田キャンパスにて開催されました（ハイブリッド形式）。生態学が専門の阿部博哉氏（国立環境研究所気候変動適応センター）に「気候変動適応推進の取り組みと沿岸生態系を対象とした適応研究」と題する報告をしていただき、気候変動の影響の地域的な現れ方や対策の課題について活発な議論が行われました。当日の報告、質疑の概要は『地域社会学会ジャーナル』第19号の報告論文と批評論文をご参照ください。

研究例会に先立ち、11月28日（木）に第3回研究委員会をオンラインにて開催し、大会運営の手順や分担、シンポジウムのテーマ・登壇者について検討しました（出席者：室井研二、二階堂裕子、矢部拓也、辻岳史、原田峻、阪口毅、佐藤洋子、吉村真衣、武田俊輔）。大会シンポジウムでは「環境変動適応と地域社会」をテーマに専門が異なる3名の研究者にご報告いただき、地域社会学的な研究の立ち位置や貢献について理解を深めたいと考えています。

第4回研究例会は2月1日（土）に東京大学本郷キャンパスで開催される予定です（ハイブリッド形式）。報告者は富田涼都氏（静岡大学・非会員）で、環境社会学の立場から気候変動の影響の現れや適応の課題についてご報告いただきます。後半は「地域社会学を振り返る」企画で、吉原直樹先生に「地域社会学会と私——並走から往還へ」と題する報告をしていただく予定です。多数のご参加をお待ちしています。

（室井研二）

## 地域社会学会第50回大会の予告、自由報告の募集

地域社会学会第50回大会が、2025年5月17日（土）・18日（日）の両日、東京経済大学にて開催されます。自由報告を希望される方は、以下の手順で自由報告への応募をお願いいたします。

### (1) 報告の題目と簡単な内容（100字程度）の提出

2025年2月末日必着で、メールにてお送りください。メールアドレスは下記のとおりです。メール受信後、行き違いを避けるために受理確認メールを返送します。受理確認メールが届かない場合は、メールその他の手段で下記連絡先に連絡してください。

### (2) 報告要旨（A4版用紙で40字×40行を1枚）の提出

2025年3月18日（火）必着で、報告要旨を電子ファイル（Word）で作成し、メールに添付してお送りください。送付にあたり、PDFファイルもあわせてお送りください。こちらが会報（プログラム・報告要旨集）の原稿となります。

〈提出先・連絡先〉

E-mail : muroi.kenji.w9◆f.mail.nagoya-u.ac.jp（◆を@にしてください）

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院環境学研究科 室井研二

電話：052-789-2273

【会費をまだ納入されていない会員の方へ】

自由報告を行う場合、2024年度までの会費が納入されている必要があります。

【現在非会員で報告を希望される方へ】

自由報告は会員であることが必要です。現在非会員の方で自由報告を希望される方は、2月1日（土）に開催される理事会で入会が承認される必要があります。該当する方は、下記のサイト（本学会のHP <https://jarcs.sakura.ne.jp/main/membership/index.html>）から、1月30日（木）までに入会申込をお願いいたします。

（室井研二）

### 3. 編集委員会からの報告

12月5日に第4回編集委員会をオンラインで開催し、年報第37集（2025年5月刊行予定）の編集の進捗状況について話し合いました。現在、自由投稿論文のリライトおよび査読中です。特集論文は、大会シンポジウムの登壇者に寄稿を依頼し、解題を含め計4本が掲載される予定です。また書評6本、書評リプライ1本が掲載される予定です。お忙しいなか、査読や執筆をお引き受けくださった皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。

（松宮 朝）

### 4. 社会学系コンソーシアム担当からの報告

去る1月26日に、社会学系コンソーシアム第17回評議員会がオンラインで開催されました。例年この評議員会と合わせて開催されていたシンポジウムについては、昨年度から3月に開催されることになりました。

シンポジウムの詳細については、以下の通りです。参加については、事前申込が必要ですので、社会学系コンソーシアムのウェブサイトから各自お申込をお願いします。

社会学系コンソーシアム2024年度（第17回）シンポジウム「〈原爆〉をめぐる記憶と継承」開催のお知らせ

日時：2025年3月8日（土）13:00～16:30

方法：オンライン開催（Zoomウェビナーによるオンライン開催）

（登録フォームにご記入いただいたアドレスに、後日、ZoomウェビナーのURLを送付）

参加：一般参加可能、参加費無料です。以下のURLにアクセスして必要事項を入力ください。先着1,000名まで参加可能です。こちらの登録フォームに記入いただいたメールアドレスに、後日、参加に必要なZoomウェビナーURLをご案内します。

<https://forms.gle/pN54bHQRGEoL4u5C7>

（三浦倫平）

### 5. 事務局からの報告

（1）会費納入状況

2025年1月1日時点の会員は389名（一般341名、学生・院生28名、終身20名）で、2024年度の会費納入率は約40%でした。

（2）会報242号・ジャーナルNo.18の発行

庶務担当理事から学会HP上で会報242号とジャーナルNo.18の発行が報告されました。

（3）会費納入のお願い

2024年度の会費納付率が低いことについて、会費納入がSMOOSYに移管されたことに伴い、それまで年報送付時に同封されていた振込用紙がなくなったことなどが影響しているとの指摘を受け、今後は未納者への財務担当理事からの督促を増やしたり、HP上でSMOOSYでの納付方法について周知するなどの

対策を講じていきます。引き続き会費納入にご協力をお願いします。

(齊藤麻人)

## 6. 会員異動

<新入会員>

入江康仁 (慶応義塾大学)

小野寺修 (仙台青葉学院短期大学)

(以上、2024年12月7日理事会で承認)

## 7. 会員の研究成果情報(2023～2024年度)

なし

## 8. 理事会のご案内

第4回理事会

日時 2月1日(土) 10:30～12:30

東京大学本郷キャンパス国際学術総合研究棟1階文学部3番大教室+ハイブリッド